

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 公園スタジアム課
 担当名: 公園事業担当
 内線: 5408

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B2	社会資本整備総合交付金(公園)事業費			一般会計	土木費	都市計画費	公園費	社会資本整備総合交付金(公園)事業費	
事業期間	昭和41年度～	根拠法令	都市計画法、都市公園法			針路	10	豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール
						分野施策	1001	みどりの保全と創出	SDGsターゲット
1 事業の概要 都市環境の改善やレクリエーションの場を提供し、都市生活にうおいと安らぎをもたらすとともに、災害時には避難場所、救援活動の拠点となる公園の整備を進める。また、防犯性を高める整備等を実施し、利用者の誰もが安全・安心に利用できるよう整備する。 (1) 社会資本整備交付金(防災安全)事業費 (2) 事業費支弁人件費 (3) 事務費 △1,421千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 公園の新規供用に向けた施設整備を実施する。(さきたま古墳公園) 161,800千円 イ 大宮公園の整備を実施する。(大宮公園) 10,000千円 ウ 公園施設長寿命化計画に基づく施設改修等を実施する。(大宮公園ほか18公園) 2,524,795千円 エ 熊谷スポーツ文化公園の整備を実施する。 33,000千円 (2) 事業計画 ア 各公園3年から5年単位で段階的に供用区域を拡張する。 ～年度別事業計画～【令和2年度】 公園数2、金額 500,458千円 【令和2年度補正】 公園数2、金額 541,458千円 【令和3年度】 公園数1、金額 165,000千円 イ 大宮公園の整備を実施する。 ～年度別事業計画～【令和2年度】 公園数1、金額 54,000千円 【令和3年度】 公園数1、金額 70,000千円 ウ 公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な改築・更新に取り組む。 【令和2年度】 公園数1、金額 40,000千円 【令和2年度補正】 公園数19、金額 2,322,001千円 (3) 事業効果 供用面積が拡大することで、県民の憩いや安らぎの場の増加につながり、災害時での避難場所としての機能も拡大する。 【平成29年度】 事業費 757,423千円、供用面積 0.0ha 【平成30年度】 事業費 697,368千円、供用面積17.3ha、羽生水郷公園ほか1公園 【令和元年度】 事業費 601,497千円、供用面積 2.0ha、さきたま古墳公園 【令和2年度】 事業費 617,214千円 【令和3年度】 事業費 257,756千円					
2 事業主体及び負担区分 社会資本整備総合交付金 用地(国1/3・県2/3) 工事(国1/2・県1/2)									
3 地方財政措置の状況 公共事業等債 充当率90% (通常分50% 財対分40%) 交付税措置 財対分 50%									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4.8人=45,600千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,421	国庫支出金	県債					△421	3,387,555
現計額	3,388,976	1,682,810	1,620,000					86,166	

事業内訳書

事業名	社会資本整備総合交付金（公園）事業費		
単位事業名	事務費	予算額	△ 1,421千円

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△93	—	経費節減に伴う不用額の減
需用費	△690	—	経費節減に伴う不用額の減
役務費	△638	—	経費節減に伴う不用額の減
合計	△1,421	—	